

医療従事者に求められる

# LGBTに関する基礎知識

近年、LGBTという言葉が頻繁に使われるようになりました。これまでの調査で、LGBTの人々は3～8%程度であったと報告されており、医療従事者にとっても無関係なことではありません。では、どのような知識を身に付ける必要があるのでしょうか。

今回、当事者かつ医療従事者である2人の講師を招いてLGBTについて学ぶ講演会を企画しました。是非ご参加ください。

講師： **吉田 絵理子氏**

(川崎協同病院 総合診療科／東京慈恵会医科大学 社会人大学院生)

医師、社会人大学院生として病院勤務をしながらLGBTと医療に関する研究を行っている。  
2018年よりLGBT当事者医師としての講演活動も開始した。

講師： **浅沼 智也氏**

(看護師、カラフル@は一と代表)

トランスジェンダー当事者として自らの体験をきっかけにLGBTQ当事者がより快適に過ごせるよう啓発活動を行っている。著者「虹色ジャ～ニー 女と男と時々ハーフ」(文芸社)

日時： **10月10日(木) 18:00～19:15**

場所： **杏林大学三鷹キャンパス  
看護・医学教育研究棟 2階201号室**

対象： **全教職員**

\* 全学部生、大学院生、研究者等、どなたでも参加できます。

主催：医学部 教員・職員能力開発室／男女共同参画推進室

共催：保健学部FD委員会／総合政策学部FD委員会／外国語学部FD委員会